

製品名: SCF (12S8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17642**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:500,FC 1:20-1:50
分子量	31kDa

抗原情報

遺伝子名	KITLG
別名	SF; SCF; MGF; FPH2; KL-1; Kitl;
遺伝子 ID	4254.0
SwissProt ID	P21583
免疫原	ヒト SCF の合成ペプチド

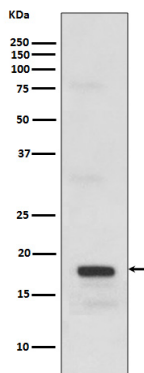
背景

受容体型タンパク質チロシンキナーゼ KIT のリガンド。細胞の生存と増殖、造血、幹細胞の維持、配偶子形成、肥満細胞の発達、遊走と機能、およびメラニン生成の調節に重要な役割を果たします。KITLG/SCF 結合により、いくつかのシグナル伝達経路が活性化されます。ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼの調節サブユニットである PIK3R1 のリン酸化と、それに続くキナーゼ AKT1 の活性化を促進します。受容体型タンパク質チロシンキナーゼ KIT のリガンド。細胞の生存と増殖、造血、幹細胞の維持、配偶子形成、肥満細胞の発達、遊走と機能、およびメラニン生成の調節に重要な役割を果たします。KITLG/SCF 結合により、いくつかのシグナル伝達経路が活性化されます。ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼの調節サブユニットである PIK3R1 のリン酸化を促進し、キナーゼ AKT1 を活性化します。KITLG/SCF と KIT は GRB2 を介してシグナルを伝達し、RAS、RAF1、MAP キナーゼ MAPK1/ERK2 および/または MAPK3/ERK1 を活性化します。KITLG/SCF と KIT は STAT ファミリーメンバーである STAT1、STAT3、および STAT5 の活性化を促進します。KITLG/SCF と KIT は PLCG1 の活性化を促進し、細胞シグナル伝達分子であるジアシルグリセロールとイノシトール 1,4,5-トリリン酸の生成を促します。KITLG/SCF は、おそらくインターロイキンなどの他のサイトカインと相乗的に作用します。

研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路

画像データ



組み換えタンパク質における SCF 発現のウエスタンブロット分析。